

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所 はっぴーはうす 保育所等訪問支援事業部門 えがお		
○保護者評価実施期間	6年 12月 1日		～ 7年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	6年 12月 1日		～ 7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	6年 12月 1日		～ 7年 2月 20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型の為、相談支援事業部門、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業部門と3つの他事業部門があり、それぞれの職員が連携をとりながら協議することが出来る。	児童発達支援事業所の利用児であれば訪問先の集団での困りごとを事業所に持ち帰り、保護者へ報告しながら療育の実施が可能である。	保護者を含め、施設と事業所三者が協力してこの成長を見守っていくこと。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育事業を契約していない利用児に対しての訪問が集団での困難さに出くわした際、個別対応の療育をしていないがゆえに施設に対してのアドバイスが高度な技術を要する。	保育士としての高度技術はあるが、学校に向き教員へのアドバイスを求められる際に職員が上手く対応することが難しい。	職員の障害児の特性に多する高度な研修の実施
2			
3			